

令和4年度 学校評価書

学校名（東温市立上林小学校）

1 学校の教育目標 自己をひらき、ともに学び、たくましく伸びゆく、上林っ子の育成

2 経営の基本方針 “ふるさと上林” に生きる自分に誇りと自信をもち、「人・もの・こと」との関わり合いを通して、心豊かにたくましく生きる子どもを育てる。

令和5年2月1日

評価領域	評価項目	評価の観点	評価			考察及び改善方策	学校関係者評価委員の評価
			教職員	児童	保護者		
生徒指導	いじめ・不登校等への対応	○ いじめを許さない毅然とした指導と、適切な教育相談等を通じた不登校への予防的取組ができた。	3.4	4.0	3.5	○ 全ての項目において、児童の評価は昨年度より上昇した。いじめ・不登校等への対応については、昨年度に引き続き積極的な児童理解に努めるとともに、保護者の支援にも取り組んだ。見守り活動、毎月のアンケートと教育相談を実施し、情報共有を行うことでいじめの防止に組織で取り組んでいる。さらに、人権参観日には、いじめをテーマに授業を行うなど、人権意識を高める教育活動にも力を入れている。今後も、家庭との連携を継続し、いじめ予防のための教育活動を充実させるとともに、早期発見と早期解決につなげていく。 ○ 基本的な生活習慣の定着については、挨拶運動の励行を継続する等、子どもの実態に応じた指導をし、保護者にも啓発していく。	・上級生が下級生に優しく声を掛ける姿をよく見かけます。児童が安心して友達や先生方とよき人間関係を築き、生活できていると思います。 ・昔のいじめは遊び感覚的な弱い者いじめが主だったような気がします。今は、仲間外れのいじめが多いのではないかと。家族的な関係の強い上林小児童間でこのようなことは起こりにくいとは思いますが、今後とも気を緩めずいじめの芽の発見と指導に御尽力願います。 ・学校内では挨拶はよくできているが、登下校時や休日の挨拶については、こちらから挨拶することが多いように思われます。自分から挨拶ができるように今後も地道な指導を続けてほしい。 ・少人数のよさを生かして、一人一人にきめ細かい学習指導ができています。引き続き、確かな学力を育て、中学校へ入っても大人数の中で自信を持って生活できる上林っ子を育ててください。 ・参観授業において、自分の考えをはっきりと発表できている。また、他の児童や先生の話も真剣に聞いており、指導が行き届いていることが伺えます。
	基本的な生活習慣の定着	○ 気持ちのよい挨拶や、正しい名前の呼び方、時と場、相手に合った言葉遣いをしようとする態度を育てることができた。	3.2	4.0	3.7		
	望ましい行動様式	○ 生活目標・安全目標に基づいて、指導の重点化を意識して指導を行った。	3.8	3.9	3.6		
確かな学力を育てる教育	基礎・基本の定着	○ 学習意欲の喚起と個に応じたきめ細かな指導の充実により、基礎・基本を定着させることができた。	3.6	3.8	3.7	○ 少人数によるきめ細かな指導体制に加え、個別最適な学びを充実することで基礎・基本を定着させることができた。6年生が取り組んだ様々な評価においては、どの教科も高い水準であった。 ○ 家庭学習の充実に関しては、昨年度より教職員 0.6、保護者 0.4 評価が大きく上昇した。今後も保護者と連携しながら、毎日の積み重ねを大切にしていきたい。 ○ ICT を活用した授業改善については、児童と保護者の評価に大きな差が見られた。ICT の日常的な活用による授業改善について、情報発信をしたり、学校行事に取り入れたりし、さらなる周知を図りたい。また、家庭学習での活用も増やすようにしたい。 ○ 読書活動の推進については、朝の読み聞かせや図書館利用を継続したり、各教科と関連させた授業を重視したりしていきたい。	・学校内では挨拶はよくできているが、登下校時や休日の挨拶については、こちらから挨拶することが多いように思われます。自分から挨拶ができるように今後も地道な指導を続けてほしい。 ・少人数のよさを生かして、一人一人にきめ細かい学習指導ができています。引き続き、確かな学力を育て、中学校へ入っても大人数の中で自信を持って生活できる上林っ子を育ててください。 ・参観授業において、自分の考えをはっきりと発表できている。また、他の児童や先生の話も真剣に聞いており、指導が行き届いていることが伺えます。
	家庭学習の充実	○ 「家庭学習の手引き」を有効に活用し、家庭の協力を得ながら指導に当たった。	4.0	3.8	3.8		
	ICT を活用した授業改善	○ ICT 機器を有効に活用し、「分かる・できる・楽しい」授業への改善に取り組んだ。	3.8	4.0	3.3		
	読書活動の推進	○ 読書を通して、言葉を学び、感性や表現力、創造力を豊かなものにするため、読書環境の整備に努めた。	3.6	3.9	3.6		
豊かな心、健やかな体を育てる教育	道徳教育の充実	○ 道徳の授業の充実や、実践に結びつく道徳教育・人権教育に教育課程全体を通して取り組んだ。	3.8	4.0	3.6	○ 異学年集団の活動を中心に、互いを認め合い、尊重し合う集団づくりを行っている。また、全校児童で取り組む活動が多く、一人一人が活躍する場を設定するとともに、温かい人間関係を築くことができています。今後も、外部機関と連携を図り、道徳教育・人権教育のさらなる充実を目指したい。 ○ 昨年度実施できなかった愛媛県警と連携したスマホ・ケータイ教室を参観日に実施することができた。スマホやゲーム機器等の使用についても親子で学ぶ機会となった。 ○ 放課後水泳教室や陸上運動の取組を継続している。1年間を見通した体力づくりを計画的に行い、運動に親しむ児童を育てたい。	・運動会など全ての行事において、一人一人が主役となる機会が多く、それは上林小のよき伝統であり、明るく思いやりのある児童の育成ができていていると思います。 ・人権擁護委員と連携した人権教室では、児童が自分の気持ちを積極的に発言していました。豊かな心が醸成されつつある。 ・一人一人の学力、体力、性格等を十分に把握し、きめ細かな指導がされている。 ・ICT を活用し、非常に効果的な学習が実践されている。 ・地域と連携し、児童を見守る体制ができており、安全に気を付け落ち着いて生活できている。 ・コミュニティ・スクールの充実に取り組んでいると思う。様々な活動をPTAや地域と連携・協力して実施することにより、教育効果を高め、それをコミスクだより等で地域に発信し、家庭や地域との連携を図ることができている。 ・上林資源環境保全会の協力を得ての米作りやもちつき大会等、上林の自然を十分に感じる体験を今後も続けてもらいたい。また、コミュニティ・スクールの設置に伴い、児童の希望を取り入れた新たな取組も期待する。 ・今後もICT機器の充実を図るとともに積極的な活用に努め、学力等の向上を図ってもらいたい。 ・先生方が情熱を持って一人一人を大切にしながら指導されているのが伺えます。
	仲間づくり・集団づくり	○ 相手の気持ちを理解し、互いに認め合い、協力し、助け合う人間関係づくりを推進した。	3.8	4.0	3.6		
	健康づくり・体力づくり	○ 早寝早起き朝ごはん、うがいや手洗い、歯磨き等の習慣を身に付けさせるとともに、児童の体力についての現状や課題を把握し、体力向上に関する指導を推進した。	3.8	4.0	3.6		
特別支援教育	特別支援教育の充実	○ 授業のユニバーサルデザイン化を図るなど、特別支援教育の趣旨を生かしたよく分かる授業展開に努めた。	4.0	3.8	3.7	○ 特別支援コーディネーターを中心に、児童の特性に応じた指導について情報共有を行っている。また、特別支援教育に関する研修で学んだ内容を教職員に発信するなど、日常的な研修を行っている。	
安全・安心な教育環境の整備	登下校の安全確保	○ 家庭・地域・関係諸機関との連携による登下校の安全確保や不審者対策を実施し、安全で安心できる学校づくりができた。	3.4	4.0	3.6	○ 登下校については、保護者・地域の方々が見守り活動に協力していただき、大変ありがたい。また、不審者情報を確実に保護者に知らせて全教職員で対応する等、安心・安全な登下校指導を行っている。 ○ 児童の実態に応じて防災マニュアルを見直したり、予告なしの避難訓練を実施したりする等、児童の命を最優先した防災教育を行っている。また、危機管理課と連携してマイ・タイムラインについて学習する等、防災教育を充実させている。今年度は、総合防災訓練を実施し、地域・保護者・学校が一体となって取り組み、自主防災組の対応について意識を高めることができた。 ○ 安全点検で見つかった箇所への早期対応を行っている。今後も、危機管理意識を持ち、危険箇所の早期発見に努めたい。	・登下校については、保護者・地域の方々が見守り活動に協力していただき、大変ありがたい。また、不審者情報を確実に保護者に知らせて全教職員で対応する等、安心・安全な登下校指導を行っている。 ○ 児童の実態に応じて防災マニュアルを見直したり、予告なしの避難訓練を実施したりする等、児童の命を最優先した防災教育を行っている。また、危機管理課と連携してマイ・タイムラインについて学習する等、防災教育を充実させている。今年度は、総合防災訓練を実施し、地域・保護者・学校が一体となって取り組み、自主防災組の対応について意識を高めることができた。 ○ 安全点検で見つかった箇所への早期対応を行っている。今後も、危機管理意識を持ち、危険箇所の早期発見に努めたい。
	防災教育の充実	○ 防災マニュアルを策定し、日々の教育実践に役立てるなど、「みんなの命をみんなで守る」「自分の命を自分で守る」児童の育成に努めた。	3.8	4.0	3.7		
	施設・設備の安全管理	○ 安全点検の徹底による潜在危険箇所の早期発見・完全除去及び防災・防犯につながる備えの確認をした。	4.0	3.9	3.6		
家庭・地域との連携	開かれた学校づくりとコミュニティ・スクールの推進	○ 地域の人材を講師として活用したり、運動会、学芸会、稲作等の行事運営をPTAや地域と協力して行ったりするなど、学校運営協議会と連携して地域に開かれた教育活動を推進した。	4.0	3.9	3.7	○ 学校運営協議会と連携し、米作りやもちつき大会など、上林ならではの体験活動を実施することができた。また、今年度は、夏祭りの開催や学芸会で神楽を初披露する等、地域の方の協力のおかげでふるさとを愛する児童が育っている。6月にはプール横の公園の木の伐採、1月には桜の木の伐採、2月には椎茸の植菌を、地域の方が協力していただき、教育環境の整備にも尽力していただきました。PTA会長がプログラミング学習の講師を行う等、保護者の協力もありがたかった。 ○ 地域とともにある学校づくりを目指し、保護者・地域にアンケートを実施した。アンケート結果をもとに、学校運営協議会で熟議したり、コミスクだよりを発行したりする等、新しいコミュニティ・スクールの在り方を追究した。	・学校運営協議会と連携し、米作りやもちつき大会など、上林ならではの体験活動を実施することができた。また、今年度は、夏祭りの開催や学芸会で神楽を初披露する等、地域の方の協力のおかげでふるさとを愛する児童が育っている。6月にはプール横の公園の木の伐採、1月には桜の木の伐採、2月には椎茸の植菌を、地域の方が協力していただき、教育環境の整備にも尽力していただきました。PTA会長がプログラミング学習の講師を行う等、保護者の協力もありがたかった。 ○ 地域とともにある学校づくりを目指し、保護者・地域にアンケートを実施した。アンケート結果をもとに、学校運営協議会で熟議したり、コミスクだよりを発行したりする等、新しいコミュニティ・スクールの在り方を追究した。
	情報の共有化	○ 学校日より（学年だより）、ホームページを工夫・充実し、保護者に児童の様子や学校の方針を理解してもらえよう努めた。	3.8	3.9	3.9		
特色ある学校づくり	緑の少年団	○ 緑の少年団活動への効果的な指導を通して、地域の美しく豊かな自然環境を守ろうとする態度を養うことができた。	3.8	4.0	3.6	○ 緑の少年団活動を核として、地域の公園の清掃やさつまいもの栽培等、児童が主体的に自然に学ぶ活動を実施した。 ○ 本年度は、さつまいもが不作であったものの、自然と向き合う農業の難しさを学ぶきっかけとなった。家庭教育学級では木育をテーマに、木の多様性や自然の恵みについて学び、自然を大切にすることを育てることができた。	・緑の少年団活動を核として、地域の公園の清掃やさつまいもの栽培等、児童が主体的に自然に学ぶ活動を実施した。 ○ 本年度は、さつまいもが不作であったものの、自然と向き合う農業の難しさを学ぶきっかけとなった。家庭教育学級では木育をテーマに、木の多様性や自然の恵みについて学び、自然を大切にすることを育てることができた。
	栽培活動	○ 植物や野菜等の栽培活動を充実させ、自然を愛護し、自他の生命を大切にしていこう態度を育てることができた。	3.8	3.9	3.9		
施設・設備の充実	施設・設備の効果的な活用（ICTの有効活用）	○ 教育効果を高める環境整備と施設・設備・備品の有効活用を行った。	4.0	4.0	3.7	○ ICT機器を有効活用するために、ICT支援員や外部業者を活用して校内研修を実施した。学習指導をさらに充実させる方法を学び、積極的に授業で活用した。 ○ 個に応じた指導と支援を充実させるため、スクール・サポートスタッフと協力する等、児童一人ひとりを大切に教育環境づくりを行っている。	○ ICT機器の充実を図るとともに積極的な活用に努め、学力等の向上を図ってもらいたい。 ・先生方が情熱を持って一人一人を大切にしながら指導されているのが伺えます。
	学習・生活環境充実への取組	○ 一人一人を大切にしたい掲示や安らぎと潤いのある環境づくりに努めた。	4.0	3.8	3.9		